

基盤キャリア教育科目

概要

基盤キャリア教育科目は、学生の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育成するための科目である。個人と社会とのかかわりや、働くことの意味を自ら考え、キャリアデザインを描くことができるように、外部講師のレクチャーやインタビューなど多様な体験を通じて、社会との接点を持ちながら学べる科目構成となっている。

達成目標

変化する社会の中で未来を切り拓く知力と行動力を持ち、社会的・職業的に自立して新しい時代に自分らしく活躍することを目指して、そのために必要な基盤となる姿勢と能力を身につける。職業や働き方への理解、自己理解を深めるため、必要な知識、技能の修得を始め様々な能力や態度を身につけ、自らのキャリアデザインを行うことができるようになる。

カリキュラムの方針

上記の目標達成のため、多様な科目が用意されている。各科目は、職業や働き方への理解や自己理解を深めていくため、大学の専任教員による座学だけでなく、グループワークやインタビュー、外部講師のレクチャーを通じて社会との接点を持ちながら学ぶことが重視されており、学生自身の行動や体験を通じたキャリアデザイン力の育成が図られる。

以上のカリキュラムによって、「自分がどんなキャリアデザインを描くのか、どんな大学生活を送ったらよいか、どんな職業選択をするか」を意識しながら学び、今後の学生生活を実り多きものとする学生を育成することを目指す。



＜「人間と社会」講義



「キャリアデザイン」グループワーク＞